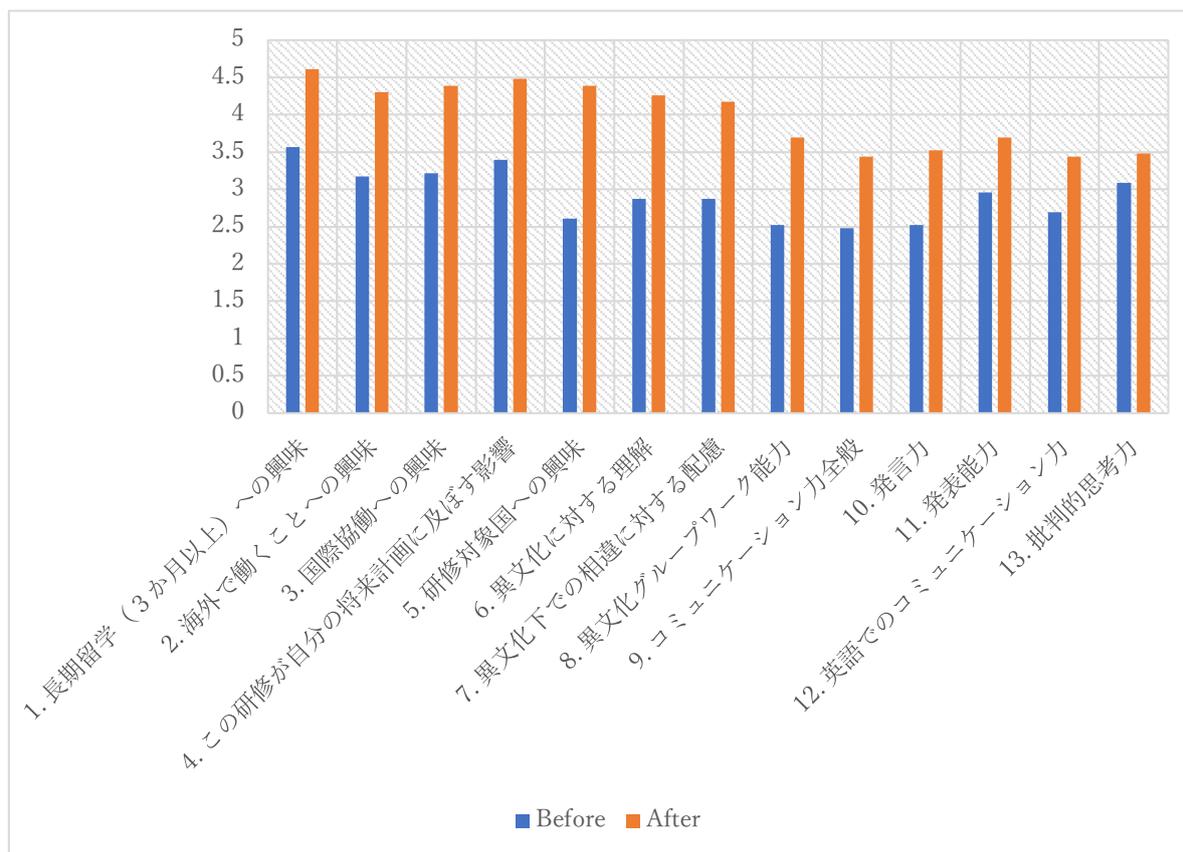


グローバル理工人国内研修（オンライン）

2021 Summer — アメリカ・スリランカ・スウェーデン

履修生（24名）アンケート

◆ 各質問に対する履修前後での回答：5段階スケール平均値（1.とても低い-5.とても高い）



◆ 所感（一部抜粋）

キャリア

- ・ 新たな視点で物事を見ていけるようになり、将来に向けるキャリア形成にも極めて役に立っている。
- ・ キャリアトークでは自分の目指す企業についてよくよくお話を聞くことができてためになりました。
- ・ 自分の視野が広がったと思います。UPサラ大学とMITラボツアーでこの授業しかできない経験なんじゃないかなと思います。
- ・ 海外に留学をし、海外の企業でキャリアを持ちたい自分に刺さるようなアドバイスや経験を積むこと

ができました。

- ・東工大の先輩方の話を聞くことで、自分の将来について具体的に考える手助けになった。

留学

・留学トークは年齢も近かったこともあり強烈な印象でした。また、まだ学部一年生なのでキャリアワークショップよりも、留学などの方に惹かれた感じです。

- ・長期留学を考えており、それに向けて海外の大学の様子を知れたことはとても参考になった。

・留学トークでは、年代が近いこともあり、自分の将来を重ねてきくことができ、直近のキャリア計画について迷っていたことや不明確だったものを解決できた。中学校でかいていたレポートや推薦入試の経験から、志望理由書など自分をアピールする文章を書くのが得意だから、そういうのが評価されるところが向いていると仰っていて、自分の強みを知り、それを活かせる場を選ぶことの有意義さに気付いた。お二人の勇ましさが、画面越しでも伝わってきた。

- ・MIT のラボツアーは本当に楽しく行きたい！と思うようなツアーだった。

・MIT ラボツアーは、先生の話に惹きつけられた。研究内容だけでなく、研究姿勢や、そもそもの学ぶ姿勢（知らないことは知らないことを恥じるのではなく直ちに吸収しようとする、自分から行動を起こすこと、わからないことは聞くこと、タイムマネジメント、など）を聞き、共感できたし、すぐに自分の行動に反映させようと思った。

学生交流

・LNBTI との交流では今もチャットで話すほどの仲になり始めて海外の人と連絡を取り合うことができている楽しいです。

・同時にいろいろな国の人とつながれて、とてもいい経験になった。また、ウプサラ大学の交流の際に日本の政治の仕組みや皇族に関して質問されたが、そもそもの知識が少なくきちんと答えられなかった。もう少し勉強をしようと思った。

・スウェーデンについてのプレゼンの後でブレイクアウトセッションがあったことで、「プレゼンでこんなイベントあると言っていたけれど実際行った？」などとコミュニケーションを取ることができた。

・学生たちとたくさん話し友達になることが出来てとても楽しかったし、初めての経験だったので刺激的でいい経験になった。

◆ 次回の参加者に向けてのアドバイス （一部抜粋）

・日本のことについて英語で説明できるようにしておくこと。日本語でも説明がうまくできないことは英語でも説明できない。

・あらかじめ、自分が将来何をしたいのかを考えて臨むとよりモチベーションが上がると思いました。

・相手の国についてしっかり学んでから交流すると、たくさん会話のネタが出来て楽しいと思います！文法の間違いなどを気にするのではなく、とりあえず話してみることを大事にするとあちらからも話してくれて良いコミュニケーションを取ることが出来たと思います。

・毎回、全体の前で何かしらの発言をするというのを自分に課すと当事者意識や積極性は身につくと思います。

・国内で留学体験ができるというのは、実際に渡航するのに比べて敷居が低く参加しやすいと思うので、一歩踏み出すきっかけにしてみたら良いと思います。

・データ比較の際に、調べる国への理解がないとデータを偏見をもって解釈してしまうことがあったため、もう少し調べる国のことを先に知りたかったです。

・英語力はもちろんだが、学生交流などをしていて生きてきて学んだこと（高校で学んだ地理や歴史など）が思わぬかたちで役に立つことがあるので、幅広いことに興味をもって学んでいることが準備になると感じた。

・英語力が足りなくてブレイクアウトセッションでただ一人の日本人となった時に会話にとっても置いて行かれてしまうので、英語は勉強しておくといいと思います。また、英語についていけない時に、会話を遮って訊き直す勇気が大切でした。